郡山出張所グラフティ Vol.107

2011/2/25発行

浜尾遊水地内
セイタカアワダチソウの水攻め作戦

浜尾遊水地

外来植物であるセイタカアワダチソウが繁茂している 須賀川市浜尾地内の浜尾遊水地において、昨年に引き続き、現在、セイタカアワダチソウの弱体化を目指して試験的に「水攻め作戦」を実施しています。

「水攻め」作戦とは？

洪水発生の比較的少ない時期を利用して、浜尾排水門の呑口（遊水地）側の取り付け水路に大型土のうを設置して、一時的に水をせき止め、地盤の高さが比較的低い箇所に分布しているセイタカアワダチソウを水没させて根腐れを助長し、生育密度や背丈を小さくさせることをねらいとしています。

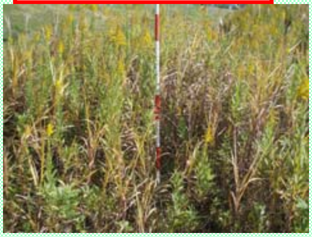
平成21年度の現地実験

（実施期間：平成22年1月7日～平成22年3月26日
水没面積：約68,000㎡（全体面積の約11%））

せき止めている様子
（浜尾排水門　呑口部）

どうなった？

① 水 没 箇 所



② 非 水 没 箇 所

①のセイタカアワダチソウは②に比べて数も少なく、背丈も低い状況でした。
水攻めの効果が確認されました。

今年も昨年に引き続き、現在、せき止め高を２ｍにして現地実験を実施しており、５月頃まで続ける予定です。

只今 遠隔操縦中！

～遠隔操縦式油圧ショベル(リモコン式バックホウ)～

東北地方整備局では平成20年の「岩手・宮城内陸地震」後において，有人施工が不可能な危険箇所での活用の有効性が確認された「遠隔操縦式油圧ショベル（リモコン式バックホウ）」を２台導入しました。

しかしながら，操縦経験者が少ないことから，災害発生時に迅速な作業を実施するため，操縦者育成が急務となっています。

このため，平成23年２月10日から，実際の工事現場（二本松市安達ヶ原地内）において，操作訓練及び作業効率調査を始めました。

数10m離れた場所からモニター画面だけを見ながらリモコンを操作し，掘削した土砂をダンプカーに積み込む作業を繰り返し行う訓練を実施しています。

遠隔操縦の様子

阿武隈川上流危機管理演習を実施

福島市災害対策室での演習の様子

平成２３年２月９日、洪水時に円滑・確実な災害対応を行うため、福島市と合同で「阿武隈川上流危機管理演習」を実施、１４１名が参加しました。

「阿武隈川上流危機管理演習」は、実際に川の水位が上がったことを想定し、福島市及び福島河川国道事務所でどのような対応をするのかを実践形式とする訓練です。

演習終了後、合同の検討会をテレビ会議システムを使って実施し、それぞれどのような課題があるかを話し合いました。

また、この演習の様子を、郡山市など阿武隈川流域の５市２町２村の防災担当者が見学し、それぞれの自治体での災害対応への参考としていただきました。

お問い合わせはこちら

〒963-8071
福島県郡山市富久山町久保田字中台１２
国土交通省　福島河川国道事務所
郡山出張所グラフティ編集委員会
TEL　024-943-6591（代表）
ＨＰ　http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/